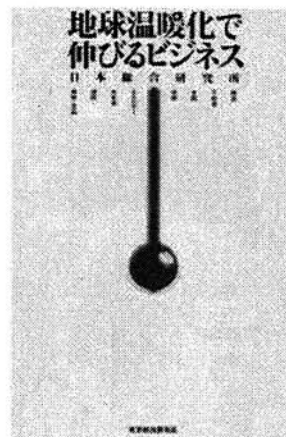


環境 論争から実行の時



地球温暖化で伸びるビジネス

日本総合研究所著

環境省が日本の今世紀末の気温について、最大4・7度上昇する恐れがあるとの試算を公表するなど、温暖化による危機が現実のものになりつつある。仮に5度近く気温が上がれば、現在の生態系が壊

滅的な状況になることは想像に難くない。

とはいえ産業界の温暖化問題への対応をみると、真正面から現実を受け止め先進的な取り組みをする企業がある半面で、目先の利益に追われて

必要な対策を取らずにいるところが多いのも事実だ。

本書はこうした状況を踏まえ、第1部で温暖化問題をめぐる現実や内外の政策動向などを分析。第

2部では数々の制約をうけることを前提に今後の企業経営を展望した。さらに第3部では先進的な企業の取り組みや新たに出現した環境ビジネスなどを紹介している。

全体に流れるのは、環境に対する対応力が企業の競争力に直結するという考え方だ。

今、環境問題で問われているのは「論争から実行への移行」なのだろう。冷静な分析に主眼を置いた本書は、それを後押ししてくれそうな気がする。